

第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画

「食育の推進」の進捗状況について

「食育の推進」については、第3次推進計画に掲げている以下①～④の4つの視点

- ① 全ての市民の食育への理解の増進
- ② 健全な食生活が実践できる環境整備
- ③ 市民運動としての食育の推進
- ④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進 に基づいてさまざまな事業を展開した。

令和4年度（2022年度）の取り組み

① 全ての市民の食育への理解の増進（P19～23）

コロナ禍においても家庭における食育の推進のため、乳幼児健康診査や各種相談の場で、感染防止対策を講じたうえで、食生活の相談や不安解消に努めた。乳児のための食育講座（離乳食講座）は、オンラインを含めたハイブリッド方式で、参加者の要望にあわせた実施方法で開催した。

乳幼児や高齢者対象のサークルや講座の開催回数は、コロナ禍前の開催状況には及ばないが、徐々に増加がみられ、関係団体が実施する乳幼児や学童向けの活動についても増加がみられた。

② 健全な食生活が実践できる環境整備（P24～28）

健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信では、食生活改善推進員が実施する「すこやか食生活改善講習会」はコロナ禍においては校区数を減らして実施したが、令和4年度は全92校区で開催し、高血圧予防についての情報発信と調理実習を行った。さらに、新たな減塩の取組として、食品企業等と連携し、市役所地下食堂での減塩定食の販売や減塩についての啓発を実施した。

また市民の野菜摂取量の増加を目指した食環境整備の取組では、令和3年度より36業者多い210の食品関連事業者と協働で店舗での啓発ポスター掲示と野菜レシピ集の配置、併せて健康ポイント事業の中でクイズミッションやポスターミッションで、ポイントをインセンティブとした市民啓発を図った。

③ 市民運動としての食育の推進（P29～33）

食育月間や食育の日を広く啓発するため、「くまもとの食」ホームページや市政だより、ラジオ、SNS等を活用し、食育に関する全市民的な広報、啓発に力を入れた。食育の機運を醸成するため関係機関と協働開催の各種イベントも、徐々に再開され食育を含めた健康についての啓発の機会が増加した。

また、こどもの食育推進ネットワークの活動は、コロナ禍で保育所等と団体等が連携活動した割合は令和2、3年度と同様20%台であったが、オンラインでの研修会の開催や区役所毎の地域研修会等を開催し、ネットワークメンバーの資質の向上と関係団体との連携を図った。

④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進（P34～37）

関係団体が行う栽培や収穫活動の巡回指導や、大学生を対象とした漁業士会等と連携した食育イベント等、生産者との交流活動が実施された。地産地消の推進や食文化の伝承は、保育所給食、学校給食において継続して実施された。

次世代に熊本の郷土料理を伝承するため、食のホームページの投稿フォーム等を活用し、広く市民から家庭や地域に伝わる郷土料理を募集し、啓発のためのレシピ集を作成した。

令和5年度（2023年度）の重点的に行う取り組み

- ・ アフターコロナにおいて、乳幼児期からの体験型の食育活動について、熊本市こどもの食育推進ネットワークにおいて、地域団体と連携した食育の取組の充実を図る。
- ・ 自然に健康になれる持続可能な食環境づくりのために、食品関連事業者と協働で減塩や野菜摂取量の増加に向けての情報発信や取組の強化を図る。
- ・ 郷土料理レシピ集「熊本のごはん」の普及を図る。郷土料理に代表される和食文化の継承は、地域活性化及び環境への負荷低減に寄与し、持続可能な食の実現に貢献することが期待されるため、各区保健子ども課と協働で家庭そして地域へ郷土料理の継承を行う。

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

施策の方向性		(1)家庭における食育の推進	H30	R1	R2	R3	R4	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	①	食育に関心がある市民の割合	77.1%	-	-	-	-	90%
	②	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 ※1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	9回	-	-	-	-	現状維持
取り組むべき施策		1) 「食卓」の重要性についての啓発 2) 食を楽しむことについての啓発 3) 男女共同参画による食育の推進						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	アクセス数 3,349,213件	アクセス数 10,625,221件	アクセス数 13,407,737件	アクセス数 15,346,793件	サイト内で、食事に関するQ&Aを14項目掲載した。	継続実施	こども政策課
2	乳幼児パパママ教室	保育所、幼稚園、子育てグループ等へ講師を派遣し、家庭教育についての学習機会の提供	実施	派遣回数 3回	実施なし	派遣回数 1回	派遣回数 7回	講師による講話を実施した。 ・離乳食について ・バランスのとれた食生活 ・簡単レシピ紹介 ・質疑応答	継続実施	こども支援課
3	乳児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、離乳食の進め方等について講話を実施	実施	79回 624人	20回 92人	35回 184人	66回 503人	離乳食実践講座は、各区で年6回開催した。対面の他、オンラインやハイブリッド形式でも開催した。	継続実施	各区保健こども課
4	幼児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、幼児期の食生活やおやつとの与え方について講話を実施	実施	19回 179人	6回 23人	12回 41人	13回 54人	育児サークルで幼児期の食生活やおやつとの与え方等について講話を実施した。	継続実施	各区保健こども課
5	育児相談	乳幼児の健康、食生活、歯科について相談を実施	参加者数 3,161人	参加者数 4,138人	参加人数 580人	参加人数 539人	相談件数 851人	育児相談日の開設はせず、電話や来所相談で対応した。	継続実施	各区保健こども課
6	妊産婦健康相談	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	参加者数 3,293人	参加者数 3,055人	参加人数 2,566人	参加人数 2,337人	参加人数 2,274人	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施した。	継続実施	各区保健こども課
7	妊婦健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.6%	受診率 98.68%	受診率 99.0%	受診率 98.8%	受診率 99.1%	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施した。	100%	こども支援課
8	妊婦一般健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	フォロー率 100%	該当者なし	該当者なし	該当者なし	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施した。	100%	こども支援課 各区保健こども課
9	3か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.0%	受診率 99.15%	受診率 98.9%	受診率 97.7%	受診率 98.7%	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施した。	100%	こども支援課
10	7か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 96.0%	受診率 96.74%	受診率 97.7%	受診率 97.2%	受診率 97.0%	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施した。	100%	こども支援課

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
11	3・7か月健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	フォロー率 95.38%	フォロー率 81.3%	フォロー率 100%	フォロー率 100%	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養面のフォローを電話または訪問で実施した。	100%	各区保健こども課
12	1歳6か月児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 98.0%	受診率 97.74%	受診率 96.1%	受診率 97.3%	受診率 99.3%	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施した。	100%	こども支援課
13	3歳児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 97.1%	受診率 96.87%	受診率 96.8%	受診率 96.3%	受診率 98.8%	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施した。	100%	こども支援課
14	乳幼児経過観察健診	こどもの発育・発達状況に応じた指導を実施	受診率 72.2%	受診率 75.3%	受診率 85.7%	受診率 78.9%	受診率 86.7%	こどもの発育・発達状況に応じた指導を実施した。	100%	こども支援課
15	保育所給食見学	楽しく食べることの重要性や方法を、親子での保育体験を通して、給食見学から学ぶ	実施	年間5回程度	実施なし	実施なし	実施なし		継続実施	こども支援課 子育て支援センター
16	小児生活習慣病予防検診	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施 (評価指数:肥満度20%以上の児童の割合)	小学生 7.7% 中学生 8.0%	小学生 8.2% 中学生 8.6%	小学生 10.4% 中学生 10.9%	小学生 9.0% 中学生 9.6%	小学生 10.0% 中学生 10.6%	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施した。	減少	健康教育課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●特定保健指導等において食事指導を実施:特定保健指導実績評価件数。被保険者9,522人(実施率36.8%)、被扶養者206人(実施率27.4%) ※令和5年3月1日時点 令和5年度継続実施予定	全国健康保険協会熊本支部
2	●地域での健康支援:①特定保健指導(積極的支援及び動機づけ支援)約100件 ②健康相談・栄養指導、約15件(電話) ・特定健康診査・後期高齢者健診の受診者を対象に、食習慣改善等の支援を実施。令和5年度継続予定。	(公財)熊本県総合保健センター
3	●職域での健康支援:①特定保健指導(積極的支援及び動機づけ支援)約1,500件 ②健診事後指導 約60件 ・熊本市の事業所を対象に、体調改善・健康維持を目指し、食事のリズムや食事内容について等の指導を実施した。令和5年度継続予定。	(公財)熊本県総合保健センター
4	●日本PTAの事業 楽しい子育てキャンペーン「三行詩コンクール」への応募:市内小中学校から200点程応募 ・各単位PTAに三行誌を応募してもらい、家族のきずなや食の有難さを再確認した。	熊本市PTA協議会

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

*H29年実績値

施策の方向性	(2)生涯にわたる食育の推進	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
検証指標項目	③ 1週間あたりの朝食について ※幼児は「毎日食べる割合」、 他は「ほとんど食べない」と答えた割合	幼児	97.3%	-	-	-	-	100%
		小学5年生	*1.7%	0.70%	なし	1.50%	1.9%	0%
		中学2年生	*4.2%	1.30%	なし	2.60%	2.5%	0%
		若い世代【20,30歳代】	18.5%	-	-	-	-	10%以下
		65歳以上	3.4%	-	-	-	-	0%
	④ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*87.2%	90.2%	88.6%	86.6%	89.5%	
	⑤ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*100%	100%	100%	100%	100%	
	⑥ 授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合		*94.0%	97.0%	調査実施なし	調査実施なし	調査実施なし	100%
⑦ 企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)		*20件	47件	4件	7件	3件	30件	
取り組むべき施策	4) 子どもの頃からの体験を通じた食育							
	5) 保育所・幼稚園・学校等における食育の推進							
	6) 若い世代や働きざかりに対する食育の推進							
	7) 高齢者に対する食育の推進							
	8) 給食を活用した食育の推進							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	保育所での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	実施率 93.0%	実施率 公立100% 私立90.2%	実施率 公立100% 私立88.6%	実施率 公立100% 私立86.6%	実施率 公立100% 私立89.5%	・園での栽培・収穫体験や収穫物を使用した給食を提供した。 (公立) ・11月24日「和食の日」に、だしの飲み比べや鰹節削り体験等を実施した。	100%	保育幼稚園課
2	保育所給食における展示食の実施	日々の給食内容を保護者に知らせ、保護者の給食への関心を高め、食について親子での会話を促す	実施率 76.5%	実施率 公立100% 私立75.6%	実施率 公立100% 私立76.1%	実施率 公立100% 私立79.4%	実施率 公立100% 私立76.2%	・実物の展示食等を用いて、必要量や形態等を啓発した。 ・おやつ展示による、内容や補食量を啓発した。	85%	保育幼稚園課
3	「食育だより」の発行	献立表と一緒に、毎月「食育だより」を家庭に向け発信し、食育を推進	実施率 93.4%	実施率 公立100% 私立92.7%	実施率 公立100% 私立93.9%	実施率 公立100% 私立96.4%	実施率 公立100% 私立96.0%	(公立) 「熊本市保育所食育推進年間計画」に基づき、月ごとの食育目標に沿った内容で情報を発信した。	100%	保育幼稚園課
4	保護者の保育参観	保育所給食の試食と、保育所給食についての説明等を実施	実施率 79.3%	実施率 公立100% 私立74.8%	実施率 公立中止 私立32.0%	実施率 公立中止 私立27.5%	実施率 公立中止 私立39.9%	(公立) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	85%	保育幼稚園課
5	●検証指標 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	43回 2,432人	2回 116人	4回 135人	3回 58人	大学とオンラインでつなぎ食料品備蓄に関する講話を実施した(東区)、千原台高校で調理実習を実施した(西区)、郷土料理調理実習を実施した(健づ)。	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
6	●検証指標 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	4回 113人	2回 159人	3回 117人	実施なし	働きざかり世代への食育については、令和4年度は実施なし。	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
7	高齢者のための食育実践講座	フレイル対策等のための、望ましい食生活の進め方について講話を実施	実施	32回 586人	4回 68人	5回 75人	12回 203人	高齢者サロンや老人会、自治会等で低栄養予防やフレイル予防、健全な食生活について講話を実施した。	継続実施	各区保健子ども課
8	介護予防教室	低栄養予防、食生活改善のための健康教育等を実施(※R2からは、「啓発パンフレットの作成と配付」を除く)	実施回数 1,249回	実施回数 1,662回	実施回数 356回	実施回数 298回	実施回数 310回	高齢者サロンやくまもと元気くらぶを対象にフレイル予防のための健康教育等を実施した。	継続実施	高齢福祉課

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
9	「食育の日」の実践と食に関する指導資料集の作成	市産品を使用した献立を実施し、指導のための資料集の作成と、全校への配付	実施	実施	実施	実施	実施	毎月市産品を活用した「ひごまるデー」を実施した。指導のための園場視察の様子や、クイズ等の資料を作成し全校に配布した。	継続実施	健康教育課
10	「給食だより」「食育だより」の発行	たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	毎月、給食だより等を発行した。	継続実施	健康教育課
11	生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	実施	配布数 7,144枚	配布数 7,119枚	配布数 6,848枚	配布数 6,692枚	小学校1年生の保護者へパンフレットを配布した。	継続実施	健康教育課
12	健康手帳(小中学生用)の作成・配布・活用	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す	実施	健康手帳 使用者数 2,056人	健康手帳 使用者数 2,081人	健康手帳 使用者数 1,626人	健康手帳 使用者数 1,263人	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を実施した。	継続実施	健康教育課
13	わくわく楽しい学校給食作品展	給食に関する児童生徒の作品を展示	実施	応募数 1,237点	実施なし	応募数 976点	応募数 1,040点	学校給食への関心を高め、本市の食育に関する一層の推進を図るため、例年、「熊本市わくわく楽しい給食作品展」を開催した。	継続実施	健康教育課
	●検証指標	【公立保育所等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	・園での栽培、収穫体験や収穫物を使用した給食を提供した。 ・11月24日「和食の日」に、だしの飲み比べや鯉節削り体験等を実施した。	100%	保育幼稚園課
	●検証指標	【私立保育所等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	87.20%	90.2% (222/246)	88.6% (218/246)	86.6% (214/247)	89.5% (222/248)	園での栽培、収穫体験や収穫物を使用した給食を提供した。	100%	保育幼稚園課
	●検証指標	【公立幼稚園等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (6/6)	100% (6/6)	100% (6/6)	100% (6/6)	野菜、果実の栽培、収穫を行った。家庭に持ち帰って味わってもらった。また昼食中の指導を通して作っている方への感謝の気持ちなどを育んだ。また園だよ、HP等でも食育についての発信を行った。	100%	指導課
	●検証指標	【私立幼稚園等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (22/22)	100% (22/22)	100% (21/21)	100% (21/21)	・さつまいもや野菜の植え付けや栽培、収穫を行い、それを食べる食育を実施した。 ・芋ほり等の体験型食育を実施した。	100%	健康づくり推進課
	●検証指標	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	94.0%	97.0%	調査実施なし	調査実施なし	調査実施なし	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校について調査実施なし。	100%	健康教育課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> ●あぐりキッズスクール:令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により取組なし。 ●令和5年度は、親子参加型により開催。JA熊本市管内小学生(3~6年生)対象に年5回開催予定。 	熊本市農業協同組合
2	<ul style="list-style-type: none"> ●電話および面接による食事のとり方等の栄養相談(事業所):電話2人、面接1人。令和5年度継続予定 	熊本県栄養士会
3	<ul style="list-style-type: none"> ●短期集中予防サービス(栄養改善プログラム)による訪問栄養指導:対象者16人、回数25回。令和5年度継続実施予定 	熊本県栄養士会
4	<ul style="list-style-type: none"> ●熊本市こども文化会館と共催で講話と実技指導を実施:①講話「むし歯を作らない健康なお口にしよう!」(糖分の摂取回数は控えめに等)②仕上げ磨き実技指導。5月11日(水)実施。乳幼児5名、1歳半1名、保護者6名参加。令和5年度は5月18日開催。 	熊本県歯科衛生士会
5	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校歯磨き巡回指導:11月に4校で実施。児童延べ200名参加。 ●熊本市歯科医師会、教育委員会と連携。熊本市立小学校児童対象に講話と歯磨き実技指導を実施。 ●令和5年度は前期は中止。後期は市歯科医師会、教育委員会と内容を確認を行い実施予定。 	熊本県歯科衛生士会
6	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者健口講座:2回延べ30名参加 ●いつまでも楽しく安全な食生活を目指すために、高齢者対象の「お口の健康講座」を開催。 ●令和5年度は、依頼に対して歯科衛生士を派遣予定。 	熊本県歯科衛生士会
7	<ul style="list-style-type: none"> ●「歯磨き名人になろう!」表面児童向け、裏面保護者向けのチラシを作成 ●安全な食生活の為にむし歯予防で、歯磨き巡回指導等、むし歯予防啓発活動の為に、小学生向けにチラシを作成。 ●令和5年度、歯磨き巡回指導等、むし歯予防啓発活動にチラシを活用予定。 	熊本県歯科衛生士会
8	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所向け健康づくりセミナーを実施:52社 令和5年度も継続実施。 	全国健康保険協会熊本支部
9	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食に関する、各種あて職会議への参加、および会議内容を理事会やHPでの報告を行い、情報の共有を図る。(熊本市学校給食会 評議員、理事、監事、物資検討委員会、熊本市学校給食運営協議会等 約40回出席) 	熊本市PTA協議会
10	<ul style="list-style-type: none"> ●日本PTA全国協議会や諸団体から配付されている食育に関する冊子を理事会で回覧し、全国のPTAや教育委員会等の取組を共有する。 	熊本市PTA協議会
11	<ul style="list-style-type: none"> ●歯磨き巡回指導:11月に4校実施 ●小学3年生を対象に、ブラッシング指導等を実施。コロナ禍もあり、指導内容をDVDにしたものを授業で流し、可能な限り実際に指導も行う。 	熊本市歯科医師会
12	<ul style="list-style-type: none"> ●鶴屋百貨店給食改善事業:4月~3月 百貨店の事業所内保育施設における給食改善と食育の実施 ●1月には「楽しく食べて、心も体もすこやかに!」と題して、食育講演会を開催。 	熊本県立大学
13	<ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園への焼きたてクッキー試食体験:10月31日(月)ときわ幼稚園の園児に対して、添加物なしのハロウィンクッキーを提供 ●担任が原材料について説明後、園児が試食を行った。 ●新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、パティシエ科全体での訪問は行わず、少人数での訪問とした。 ●ときわ幼稚園の園児より、メッセージカードを頂き、パティシエを目指す学生にとって良い機会となった。 	学校法人常盤学園 シェフパティシエ学院
14	<ul style="list-style-type: none"> ●100円朝食:朝食利用件数 5,517件 ●朝食の大切さを知ってもらうために毎年実施。 ●学生に負担がかからないよう、大学が150円を補助し、学生は100円で朝食が摂れる。 ●令和5年度も引き続き実施予定。 	崇城大学

II 健全な食生活を実践するための環境整備

*H29実績値

施策の方向性	(1) 健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信	H30	R1	R2	R3	R4	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑦ 企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)【再掲】	*20件	47件	4件	7件	3件	30件
	⑧ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上 ほぼ毎日食べている市民の割合	76.1%	-	-	-	-	85%
	⑧ ほぼ毎日食べている市民の割合 若い世代【20,30歳代】	64.0%	-	-	-	-	75%
	⑨ 栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	63.4%	-	-	-	-	80%
⑩	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に	34.3%	-	-	-	-	50%
	気をつけた食生活を実践している市民の割合 若い世代【20,30歳代】	22.5%	-	-	-	-	25%
取り組むべき施策	9) 「食事バランスガイド」「食育ガイド」等を活用した食生活の実践への支援						
	10) 生活習慣病予防等についての啓発						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	出前講座	市及び関係行政機関等の職員が講師として、地域、学校等へ出向き講話や実習等を行う	15回	37回	20回	19回	36回	地域、学校等の要請に応じて、市及び関係行政機関等の職員が、講師として現地へ出向いて講話や実習等を行った。	継続実施	生涯学習課
2	すこやか食生活改善講習会	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施	累計 51,359人	累計 53,097人	累計 53,303人	累計 53,752人	累計 54,643人	・全92校区で実施。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため密を避け、参加人数を10人で開催した。 ・高血圧の予防をテーマに講話と調理実習、試食を実施した。	60,559人	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	食事バランスガイドの啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、食事バランスガイドの啓発を行い、日本型食生活の定着を図る	実施	啓発数 1,559人	啓発数 1,844人	啓発数 1,500人	啓発数 2,020人	食生活改善推進員の養成講座や健康教育の際に、チラシを用いて啓発を実施した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	啓発数 8,100人	啓発数 14,176人	啓発数 11,690人	啓発数 12,171人	幼児健診や健康教育の際に、市統一チラシを用いて栄養成分表示の活用方法について啓発を実施した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
5	健康教育(40～64歳)	健康づくりや生活習慣病予防に関する知識の普及と啓発を実施	参加者数 7,520人	参加者数 9,253人	参加者数 2,494人	参加者数 2,220人	参加者数 3,373人	糖尿病予防教室、骨粗しょう症予防教室、ロコモ予防教室等を実施した。	継続実施	各区保健子ども課
6	健康相談(40～64歳)	個人の生活習慣や食習慣に応じた、健康づくりや生活習慣病予防、生活習慣病の重症化予防に関する助言・相談を実施	参加者数 4,037人	参加者数 2,962人	参加者 3,401人	参加者 741人	参加者 887人	生活習慣の予防や健康増進を目的に、個人の生活背景や生活習慣に応じた食生活についての相談を実施した。	継続実施	各区保健子ども課
7	●検証指標【再掲I-(2)】 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	43回 2,432人	2回 116人	4回 135人	3回 57人	・オンラインで災害に備えた食料備蓄についての講話を実施した(東区)。 ・郷土料理についての調理実習を開催した(西区、健康づくり)。	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
8	●検証指標【再掲I-(2)】 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	4回 113人	2回 159人	3回 117人	実施なし	コロナ禍のため実施なし。	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診・後期高齢者健診受診者への情報提供 ・「コロナ下でのいきいき健康生活のすすめ」をテーマとし、生活リズムを整えるやからだを動かす、バランスの良い食事、禁煙などについての情報提供資料(紙媒体)を健診結果に同封。 ・当センターにおける特定健診・後期高齢者健診受診者全員に配付 	(公財)熊本県総合保健センター
2	<ul style="list-style-type: none"> ●動画を利用した健康に関する情報提供:8つの動画を作成し、「バランスの良い食事のすすめ」「Letsがん予防」等をYouTubeで配信 ・令和5年度継続予定 	(公財)熊本県総合保健センター
3	<ul style="list-style-type: none"> ●職域での健康支援 セミナーの開催:1事業所 ・熊本市の事業所を対象に、体調改善・健康維持を目指し、食事のリズムや食事内容について等のセミナーを開催。 ・エイジフレンドリー・メタボリックシンドローム・健診結果と食生活・睡眠など。 	(公財)熊本県総合保健センター
4	<ul style="list-style-type: none"> ●すこやか食生活改善講習会:92校区で実施。92回、891人参加 ・地域住民を集めて、高血圧予防をテーマに健康増進のためのレシピの普及と調理実習を開催。 	熊本市食生活改善推進員協議会
5	<ul style="list-style-type: none"> ●世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業(若者世代):11月14日、参加者23人 ・中央高校生徒を対象に食事バランスガイドプレートを使用し、バランスのとれた食事の習慣化や、汁物の食塩濃度の測定法等を伝授し、減塩の必要性について啓発を行った。 	熊本市食生活改善推進員協議会
6	<ul style="list-style-type: none"> ●学生対象特定保健指導(PUK'Sダイエットチャレンジ):8月~1月、1名参加 ・本学健康診断でBMI30以上で希望する学生を対象に生活習慣改善プログラムを実施した。 ・伴走によって運動を含めた実践へつながり、希望した学生の満足度が高い結果となった。 ・令和5年度は、「食生活サポート」と名称を変更し、BMI30以上限定を、やせも含め対象を広げる予定。 	熊本県立大学

II 健全な食生活を実践するための環境整備

*H29実績値

施策の方向性	(2) 食生活改善をサポートする人材の育成	H30	R1	R2	R3	R4	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標 項目	① 食育の推進に関するボランティア数	*1,536人	1,685人	1,757人	1,792人	1,829人	1,850人
取り組むべき 施策	11) 管理栄養士・栄養士、専門調理師等、専門的知識を有する人材の育成と活用の促進						
	12) 食生活改善推進員等、地域支援者の育成						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	栄養士・管理栄養士養成施設実習生受け入れ	公衆栄養の場における、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 40人	受入数 39人	受入数 0人	受入数 34人	受入数 39人	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実習期間を1日に短縮し、区役所保健こども課の栄養業務内容説明及び幼児健診見学等を実施した。	継続実施	各区保健こども課
2		実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 43人	受入数 41人	受入数 46人	受入数 51人	受入数 65人	実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援した。	継続実施	健康教育課
3	栄養教諭養成施設教育実習生受け入れ	児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を取得することを支援	受入数 7人	受入数 1人	受入数 7人	受入数 8人	受入数 11人	児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を取得することを支援した。	継続実施	指導課 健康教育課
4	栄養管理、調理師対象の研修会の開催	厚生労働省の指導方針、食中毒予防、最新の栄養情報等について研修を実施	開催数 2回	開催数 2回	開催数 0回	開催数 0回	開催数 0回	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。	2回	食品保健課
5	食育担当者等研修会の実施	食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催	参加者数 202人	参加者数 198人	中止	参加者 141人	参加者 139人	「学校における食育の推進」砂取小学校で実践発表した。	継続実施	健康教育課
6	栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施	授業力向上等の研修会を実施	参加者数 67人	参加者数 66人	参加者数 67人	参加者数 64人	参加者 68人	研修会を実施した。 「学校給食の衛生管理」講師：田中延子 先生	継続実施	健康教育課
7	地域歯科保健研修会の実施	歯と口腔の健康づくりを総合的に支援する環境の整備に取り組むため、保健関係者等が、一同に会し、連携強化を図る	1回 81人	1回 63人	動画視聴数 274回	実施なし	1回 104人	「始めようフッ化物健口」をテーマに、こどものむし歯予防対策について理解を深めるための研修会を実施した(オンライン開催)。	継続実施	健康づくり推進課
8	食生活改善推進員養成講座(すこやかくまもと栄養セミナー)	食を通じた健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成	養成数 72人	養成数 49人	養成数 34人	養成数 42人	養成数 40人	・食を通じた健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」を養成した。 ・感染防止対策を実施し、対面での講義、調理実習等を実施した。	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健こども課
9	食生活改善推進員研修会	ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得	53回 2,001人	55回 2,110人	33回 3,771人	39回 2,224人	50回 1,402人	ボランティア活動に必要な知識と技術を習得するため、対面と書面を併用して研修会を実施した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
10	食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	年間 4,550人	年間 2,343人	年間 2,637人	年間 3,343人	役員会等での助言や、電話、来所による相談に対応しボランティア活動を支援した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
11	8020推進員育成講座	8020運動を推進する市民ボランティアの育成	養成数 79人	養成数 74人	養成数 100人	養成数 73人	養成数 78人	各区保健こども課において育成講座を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面での受講も可能とした。	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健こども課
	●検証指標	食育の推進に関するボランティア数	1,536人	1,685人	1,757人	1,792人	1,829人	・令和4年度食生活改善推進員協議会会員数513人 ・令和4年度8020推進員育成数(累計)1,316人	1,850人	健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> ●公開講座の開催:秋季研修会 会場参加74人、Web参加65人 ・多世代を繋ぐ食の役割を考えるシンポジウム「熊本の現状とこれから～高齢者への関わり～」。令和5年度継続開催予定。 	熊本県栄養士会
2	<ul style="list-style-type: none"> ●自立支援型地域ケア会議:256件。令和5年度継続実施予定 	熊本県栄養士会
3	<ul style="list-style-type: none"> ●自立支援型地域ケア会議:14件。毎回管理栄養士を助言者として招き、各ケースについて、栄養や食の安全と必要性についてコメントをいただく。 ・自立支援ケア会議はケアマネのOJTや地域課題抽出の場としている。指定件数があり、ケアマネの事例の中で食や栄養に関する課題が多く、ケアマネ本人はもとより、利用者家族への理解にもつながると考えている。 	熊本市地域包括支援センター連絡協議会
4	<ul style="list-style-type: none"> ●食育の推進のための研修会への参加 ・関係機関等からの食育に関する情報や研修案内を吟味し、加盟園への配付、参加の呼びかけを行った。当協会主催の研修会は開催なし。 ・熊本県私立幼稚園連合会のキャリアアップ研修「食育・アレルギー」に各園から参加が見られた。 ・令和5年度は健康づくり推進課の研修会に参加し、概要を事務局に伝え、加盟園へ伝える。 	熊本私立幼稚園・認定こども園協会
5	<ul style="list-style-type: none"> ●5ブロック保育士会給食部会合同研修会:6月1日実施、演題「こどもの育ちを考える～授乳から離乳食へ～」、講師:母歯ネットワーク九州支部 エグゼクティブ講師 歯並びの歯医者さん 保育園離乳食調理員 林田香名氏 ・保育に携わる職員を対象とした研修、食育の知識を深める。 ・令和5年度は、7月28日、演題「運動発達と口の機能発達」(仮)、講師:ゆう地域支援事業園 町村純子氏。 	熊本市保育園連盟
6	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアアップ研修:食育・アレルギー対応に関する研修会_6月25日、7月9日、9月3日 3回実施。修了者55名 ・食育・アレルギー対応に関する研修会。 ・令和5年度は、7月8日、7月29日、8月27日、こどもの育ちを通して「食」を考える、食育実践研修、食物アレルギーに関する知識を深める。 	熊本市保育園連盟
7	<ul style="list-style-type: none"> ●保育士会・給食部会合同研修会:7月6日 演題「子どもの発達と食育～コロナ禍での経験を通して～」 講師:白鷗大学 名誉教授 高橋美保氏 ・保育に携わる職員を対象とした研修、食育実践研修、食育の知識を深める。 ・令和5年度は、令和6年1月12日、講師:皇學館大学 駒田聡子氏、内容:食育推進研修会を予定。 	熊本市保育園連盟
8	<ul style="list-style-type: none"> ●市主催事業への協力:5区役所で実施 ・食生活改善推進員の養成講座の中で、受講生に対して活動についての話や交流会に参加し、食のボランティア養成に協力した。 	熊本市食生活改善推進員協議会
9	<ul style="list-style-type: none"> ●食品衛生研修会:6月12日、114名参加 ・活動の実施に必要な食品衛生の知識について研修を行い、食品衛生の知識を身に着けた。 	熊本市食生活改善推進員協議会
10	<ul style="list-style-type: none"> ●自己学習:15,509回 ・食に関するボランティアとして身につけることが必要な各種知識について研修会の参加等で自己研鑽を行った。 	熊本市食生活改善推進員協議会
11	<ul style="list-style-type: none"> ●大学生を対象とした食生活調査:4月、約500名 ・本学全学年を対象とした食生活調査を実施。 	熊本県立大学
12	<ul style="list-style-type: none"> ●たべらボランティアタイムミーティング:前学期水曜 12:10～12:40、後学期火曜 12:10～12:40、全23回 ・食育を主体的に実施する学部横断的グループ「たべらボ」メンバーを対象に、熊本の食の魅力探しワークショップなどを行う。 ・感染予防に配慮しながら、取組を実施。様々な学生グループの取組とコラボした取組や、外部の講師を招聘するなど、バリエーション豊かに実施することができた。 	熊本県立大学
13	<ul style="list-style-type: none"> ●くまもと食育ガイドブックを使用した講義の実施:10月～1月、約70人参加 ・自らの食育活動を振り返る機会やアクションプランを作成することで、学生自身の食生活を改善することにつながった。 	熊本県立大学
14	<ul style="list-style-type: none"> ●尚綱ガールズレシピコンテスト:卵を使ったオリジナル料理(主食あるいは主菜)+1品(サラダ、スープなど)、材料費250円、調理時間60分以内で募集(8～10月)⇒応募総数254点、優秀作品5品を11～12月(4回)に学食で提供(場所:尚綱大学九品寺キャンパス) ・尚綱食育研究センター発足10年目を迎える。レシピコンテストも10回目となるため、天草地区漁業士会と連携をさらに強化し、「めで鯛プロジェクト」に取り組む。 ・天草さくら鯛を使ったレシピコンテストを実施し、魚食普及にも努める。 	尚綱大学・尚綱大学短期大学部
15	<ul style="list-style-type: none"> ●尚綱乳幼児食育研究会の開催:5回、事例発表、レシピ交換、協議等。尚綱大学九品寺キャンパスで開催 ・乳幼児の食に関する課題や保育現場での食育活動、給食管理(食物アレルギー対応、衛生管理等)の課題を解決していくために、県内の保育所等の関係者(主に給食担当者)が集って、研修を行う。 	尚綱大学・尚綱大学短期大学部
16	<ul style="list-style-type: none"> ●尚綱食育推進シンポジウム:1月8日(日)、尚綱大学九品寺キャンパスにおいて、県内保育施設・学校及び行政関係者100名参加 ・テーマ「子どもの未来を拓く保育・食育を目指して～みんなで育てる子どものおいしい笑顔～」をテーマに、基調講演・研究報告・事例発表をハイブリッド方式で行った。 	尚綱大学・尚綱大学短期大学部

II 健全な食生活を実践するための環境整備

施策の方向性		(3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進	H30	R1	R2	R3	R4	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑫ 「健康づくりできます店」の登録数		217店舗	218店舗	219店舗	219店舗	219店舗	250店舗
取り組むべき施策	13) 飲食店や食品販売店におけるヘルシーメニューの提供促進							
	14) 食品工場見学等、体験を通じた食育の推進							
	15) 事業者等に対する食育の普及啓発の促進							
	16) 事業者から発信する食育							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業	市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う	実施	支援業者数 10件	支援業者数 6件	支援業者数 174件	支援事業者数 210件	6月の食育月間に野菜摂取量アップのための統一ポスターの掲示、レシピの店舗への配置等の啓発支援を実施した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	食品関連事業者向け研修会の開催	食品関連事業者が、食育を推進するための情報や知識を得るための研修会の開催	実施なし	1回 103人	実施なし	実施なし	実施なし	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。	実施	健康づくり推進課
3	【再掲Ⅱ-(1)】 栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	啓発数 8,100人	啓発数 14,176	啓発数 11,690人	啓発数 12,171人	幼児健診や健康教育の際に、市統一チラシを用いて栄養成分表示の活用方法について啓発を実施した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	栄養に関する表示実施支援	栄養に関する表示支援事業を実施する食品関連事業者等に対して技術的支援を行う	実施	実施	実施	実施	実施	事業者からの問い合わせに対して随時技術的支援を実施した。	継続実施	食品保健課 健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	218店舗	219店舗	219店舗	219店舗		250店舗	健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●牛乳飲用消費拡大事業:11月18日、7人参加 ・牛乳消費拡大のため、牛乳・乳製品を使ったレシピの開発を行った。	熊本市食生活改善推進員協議会
2	●ベジチャージ@学食キャンペーン:4~2月実施 ・学生食堂で販売される弁当・うどん・カレー・アラカルト麺メニューに無料で野菜入りスープをつけて提供。 ・5月からは、学食を利用していない学生の野菜摂取量底上げのため、学食で購入していない学生にも無料で30食の野菜スープを提供。 ・11月にアンケートを実施し、学生から大変支持されていることが伺えた。	熊本県立大学
3	●料理教室の開催:7月~3月、7回実施。参加者総数68名 ・消費拡大・食育の推進を目的として、野菜や魚を使った料理教室を開催。 ・夏野菜のブーケ作り1回、魚のさばき方6回(アジ4回、コノシロ2回)。 ・令和5年度も7回開催予定。	(株)熊本地方卸売市場
4	●市場見学対応、取材対応:市場見学1件(外国の団体)、取材対応2件(NHK、RKK) ・食育の一環として、また田崎市場に対する理解を深めてもらうために、各団体からの市場見学やマスコミ取材対応を受入れている。 ・コロナ禍で中止していたが、市場見学は令和5年3月から、マスコミ取材対応は令和4年6月から受入れを再開した。 ・令和5年度は、コロナ禍前のように、随時受入れ予定。	(株)熊本地方卸売市場

Ⅲ 市民運動としての食育の展開

施策の方向性	(1) 市民協働による食育運動の展開	H30	R1	R2	R3	R4	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	① 食育に関心がある市民の割合【再掲】	77.1%	-	-	-	-	90%
取り組むべき施策	17) 食育に関する機運の醸成						
	18) 関係団体と連携した食育運動の展開						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	食育月間等における啓発	6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示等を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図る	実施	実施	実施	実施	実施	・啓発チラシ、ホームページ、ラジオ、LINE等で食育月間について啓発を実施した。 ・市役所ロビーや各区役所、崇城大学学生食堂等においてパネル展示やレシピ配付を実施した。 ・19日食育の日に、毎月副菜レシピをLINE、食のホームページに掲載した。 ・12月より市役所地下食堂レストラン亀井で、「食育の日特別メニュー」を販売。LINE及び職員掲示板で食育の日の目的も含め周知した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	熊本市民健康フェスティバル	食育に関する情報提供や啓発活動を実施	来場者数 9,359人	ブース 来場者数 834人	中止	中止	中止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。	継続実施	健康づくり推進課
3	農産物フェア	農畜産物の展示即売及び生産者と消費者の触れ合いの場を創出	実施	実施	実施	実施	実施	消費者に熊本の農産物の魅力に触れていただくため、対面での農産物販売フェアを開催した。	継続実施	農水ブランド戦略室 各農業進振興課
4	ホームページ「くまもとの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	HPアクセス数 97,299人	HPアクセス数 93,859人	HPアクセス数 108,619人	HPアクセス数 127,543人	HPアクセス数 96,665人	食の安全安心の確保と、食育の推進について情報提供を実施した。	増加	食品保健課 健康づくり推進課
5	食育に関する全市政的広報	市政だより、ラジオ等を使った市民への啓発	7回	34回	140回	147回	120回	市政だより、ホームページ、テレビ、ラジオの他、YouTube、Instagram、Facebook等のSNSを活用した啓発にも注力した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
6	イベント時に、若い世代への健康に関する啓発	若い世代に、食育、歯科、ライフプラン、がん検診、性感染症等について啓発	実施	啓発数 458人	中止	中止	中止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。	継続実施	健康づくり推進課 感染症対策課
7	食育に関する消費者セミナーの実施	市民を対象にした食育に関する啓発	実施	参加者数 113人	中止	中止	344	消費生活の相談の一部として食に関する相談を受け付けた。	継続実施	生活安全課 消費者センター
8	【再掲Ⅱ-(2)】食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	年間 4,550人	年間 2,343人	年間 2,637人	年間 3,343人	役員会等での助言や、電話、来所による相談に対応しボランティア活動を支援した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
9	食生活改善推進員地区組織活動	食生活改善推進員が、地域で食を通じたボランティア活動を実施	活動件数 45,049件	活動件数 42,838件	活動件数 7,547件	活動件数 9,749件	活動件数 21,947件	地域で食を通じたボランティア活動を実施した。子ども、若者・働き世代、高齢者の健康・食生活の視点で地区組織活動を実施した。	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課
10	8020推進員地域活動支援事業	8020推進員による地域ボランティア活動の実施	支援件数 969件	支援件数 892件	支援件数 260件	支援件数 379件	支援件数 520件	新型コロナウイルス感染症の影響もあるものの、可能な範囲で活動を行う会に対し、フッ化物洗口支援や会議開催等の支援を実施した。	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●はあもにいフェスタ2022:ブース展示、栄養相談の実施。77名参加。令和5年度継続実施予定。	熊本県栄養士会
2	●歯の祭典:6月5日(日)上通ビブレス広場で開催。歯科衛生士コーナー来場者212名 ・市歯科医師会と共催。一生おいしく安全な食生活を営む為には、歯と口の健康づくりからを目的に、歯科衛生士会コーナーで普及啓発活動を実施。令和5年度は6月4日に実施。	熊本県歯科衛生士会
3	●けんぐん食と健康まつり:11月26日(土)ピアクレス(健軍商店街)歯科衛生士コーナー来場者252名 ・けんぐん食と健康まつり実行委員会主催。協力団体として一生おいしく安全な食生活を営む為には、歯と口の健康づくりからを目的に、歯科衛生士会コーナーで普及啓発活動を実施。	熊本県歯科衛生士会
4	●熊本市民を対象として健康イベントへの参加:①結核予防週間・がん征圧月間街頭キャンペーン(ヘルシーデー)の開催。9月20日(火)熊本市動植物園にて血圧測定・健康相談等を実施。	(公財)熊本県総合保健センター
5	●熊本市民を対象として健康イベントへの参加:健軍商店街健康イベント「けんぐん食と健康まつり」に参加。11月26日(土)骨密度測定と健康相談を実施。	(公財)熊本県総合保健センター
6	●熊本市民を対象として健康イベントへの参加:熊本城マラソンでの健康相談を実施。2月18日(土)㈱えがおと協力し健康相談を実施。	(公財)熊本県総合保健センター
7	●ほいくフェスタわんぱく祭り:10月16日 場所:立田山野外保育センター 参加人数:約1,300人 ・野外活動、こども、保護者への食育に関する啓発活動等。 ・令和5年度は、場所:立田山野外保育センター 内容:野外活動、こども、保護者への食育に関する啓発活動等を予定。	熊本市保育園連盟
8	●歯の祭典:6月5日(日)ビブレス広場で開催。来場者数261名 ・規模を縮小して開催、歯の祭典等の各コーナーで食育についても啓発。令和5年度は、6月4日(日)開催。	熊本市歯科医師会
9	●熊本城マラソンおもてなし隊:2月10日、5,000食配付 ・マラソン参加者に味噌汁等の配付を行った	熊本市食生活改善推進員協議会
10	●「食育の日」:熊本県の食材を使い、学生が考えたメニューを学食で提供。毎月1回食育の日(全9回・毎回150食販売) ・規格外野菜、防災、地域おこしのような様々な学生グループとのコラボ規格など、学生の実践が食で具体化する様々な工夫を凝らした取組を実施した	熊本県立大学
11	●食育に関する図書館展示:年4回実施 ・季節ごとにテーマを決め、図書館に食育コーナーを設置	熊本県立大学
12	●公開講演会(食育・健康フェスティバル):11月、申込者63名、当日参加者41名(コロナ感染症を心配した欠席者あり) ・「噛むことから始める健口講座」と題し、口からの健康づくりを歯っぴーかむカム代表・歯科医師の吉良直子氏を講師に実施した。ペロタッチをはじめ、噛むこと・唾液に関するお話に、受講者には大変好評だった	熊本県立大学
13	●世界シェフズデーに合わせて、ひでみ保育園に食育訪問:10月19日実施、シェフ20名が9品の手作り料理を年長組69名の園児にふるまった ・「いただきます」の前に、「いただきます」「ごちそうさま」の意味等についてお話をし、会食をスタートした ・コロナ禍で園の行事も少ない中、こども達もこの日はひと時でも大変喜んでくれた。実施して本当に良かった ・令和5年度は、なかよし保育園に訪問予定	全日本司厨士協会西日本地方県本部熊本支部
14	●田崎市場感謝祭(主催:市場連合会):熊本地方卸売市場(田崎市場)の水産せり場を主会場として、市場内を一般解放し、水産物や青果物を消費者に直接販売。併せて、各種イベントを開催し、地産地消や食の安全安心に関する理解を深めてもらう ・令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催を中止 ・コロナ禍により、令和2年度から令和4年度まで中止したが、内容等を見直し4年ぶりに開催予定	㈱熊本地方卸売市場

Ⅲ 市民運動としての食育の展開

*H29年実績値

施策の方向性		(2) 食育支援団体のネットワークの整備	H30	R1	R2	R3	R4	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標 項目	⑬	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	*62.6%	保育所等52.4% 支援団体80.0%	23.3%	26.6%	22.7%	70%
取り組むべき 施策	19) 関係団体とのネットワーク体制の整備と情報の一元化							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催	食の安全安心・食育推進計画の進捗状況を報告するとともに、市民意見を計画に反映する	開催数 4回	開催数 2回	開催数 2回	開催数 2回	開催数 3回	・食の安全安心・食育部会はハイブリッド形式で2回開催した。 ・健康くまもと21推進会議はハイブリッド形式で1回開催した。	2回	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課
2	熊本市子どもの食育推進ネットワーク	子どもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開	加入団体数 394団体	加入団体数 400団体	加入団体数 393団体	加入団体数 423団体	加入団体 426団体	参加のなかった校区民生委員・児童委員の登録があり増加した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会	ネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催	参加者数 181人	コロナのため中止	動画視聴数 645回	参加者数 229施設 449人 動画視聴数 338回	参加者数 281施設 456人	2回開催、オンライン開催と各区での集合視聴で実施した。 ・第1回: 講演「自宅とつながるオンライン料理教室！幼児期からの料理 食育体験のすすめ！！」、講師: ㈱ビストロパパ代表取締役 パパ料理研究家 滝村雅晴 氏 ・第2回: 事例報告と意見交換会「幼児期から学童期へ、つなぐ食育」	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会 ※参考資料	区毎に、地域での食育活動の活発化のため、メンバーの連携強化と、情報交換、資質向上のための研修会を開催	参加者数 626人	24回 538人	6回 512人	9回 847人	10回 606人	・書面、対面研修で実施した。 ・朝食や野菜料理等のレシピ集を作成した。 ・対面では事例発表やグループワークの実施した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	62.6%	保育所等 52.4% 支援団体 80.0%	23.3%	26.6%	27.7%	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、園への外部の立ち入りが制限され、連携活動した団体は令和2年度から令和4年度は25%前後で推移している。	70%	健康づくり推進課 各区保健子ども課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●こどもの食育推進ネットワーク・全体研修会1回、実務者会議出席2回、区開催ネットワーク地域研修会への参加 ・こどもの食育推進ネットワークに登録し、実務者会議に出席した。実務者会議出席者が、会議や部会等で報告することで各委員の「食」に対する意識や理解を深めるよう努めた。	熊本市民生委員児童委員協議会

III 市民運動としての食育の展開

*H29年実績値

施策の方向性	(3) 地域における食育の展開	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
検証指標項目	④ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】【再掲】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*87.2%	90.2%	88.6%	86.6%	89.5%	
	⑤ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】【再掲】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*100%	100%	100%	100%	100%	
⑭	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	711箇所	818箇所	847箇所	708箇所	768箇所	776箇所	
取り組むべき施策	20) 世帯構造や生活の多様性をふまえた食育							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	介護予防事業	【短期集中予防サービス】 栄養状態、運動及び口腔機能低下者を早期に発見し、悪化防止のための指導を実施	R1.10より実施予定	実施件数 12回	実施件数 31回	実施件数 72回	実施件数 87回	低栄養や虚弱の恐れがある高齢者に対し、訪問での栄養指導を実施した。	継続実施	高齢福祉課 各区福祉課
2	子ども食堂への支援	子ども食堂の開設及び運営に対する助成を実施することで、子どもたちの居場所づくり等を支援	新規	29か所で実施 開催数は未把握	39か所で実施 開催数は未把握	48か所で実施 開催数は未把握	54か所で実施(R5.3.31現在)開催数は未把握	運営や開設にかかる費用を助成した。また、企業や市民の方からの食材等の寄付やボランティアの繋ぎを行った。	継続実施	こども政策課
3	保育園児と地域住民との交流会	団子汁会や芋煮会など郷土食の継承とともに、食を通じた繋がりを作る	実施	実施	中止	中止	中止	(公立) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	継続実施	保育幼稚園課
4	幼児期の共食の重要性の啓発	1歳6か月児健康診査等において、共食についての啓発資料の配布	R1.10より実施予定	啓発数 1,660人	啓発数 6,879人	啓発数 5,662人	啓発数 6,472人	1歳6か月児健康診査、こどもの食育推進ネットワーク地域研修会等で啓発資料を配付し共食の重要性について啓発を行った。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
5	子どもだけで食事することが「ほとんどない」家庭の増加	3歳児健康診査受診前質問票で、「ほとんどない」との回答者を増加	85.2%	85.4%	86.4%	84.4%	83.6%	家庭での共食は、令和3、4年と低下が見られた。1歳6か月児健康診査での啓発を引き続き実施すると共に、こどもの食育推進ネットワーク活動において共食の取組についての強化を行った。	88.0%	健康づくり推進課 各区保健こども課
	●検証指標	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	711箇所	818箇所	847箇所	708箇所	768箇所		776箇所	高齢福祉課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●地域貢献活動 子ども食堂への支援:8回、延べ57団体 ・部員の畑5か所に年間14種類(じゃがいも、大根等)の野菜を栽培し、8回子ども食堂に支援を行った。令和5年度も継続予定	熊本市農業協同組合
2	●心と体のいきいき教室:2件①砂取校区 事業所の管理栄養士へ依頼し、高齢者の栄養について講話の実施 ②出水校区 食生活改善推進員に依頼し、食の安全について講話等実施(校区社協依頼) ・年度終了期にはコロナ感染も小康状態となり、感染に気を付けながら、実際に調理した物を提示するなど、令和3年度よりも積極的なアプローチができた。令和5年度も継続予定。	熊本市地域包括支援センター連絡協議会
3	●サロン活動:いきいき百歳体操のサロンが18箇所あり、評価時に折に触れ、栄養や食中毒予防等を行う。看護師実習生から講話を通し啓発。3件。 ・サロンのマンネリ化防止やリーダーの希望により、地域の参加者へ講話を通し学びの場になっている。令和5年度も継続予定。	熊本市地域包括支援センター連絡協議会
4	●熊本市PTA研究大会:11月12日(土)熊本市市民会館大ホールで開催 テーマ「居場所づくり～私たちができること～」 講師 中島小学校PTA会長 清水智子氏 ・中島小PTAで取り組んでいる「子ども食堂」の活動の様子と地域との交流について講演をいただいた。	熊本市PTA協議会
5	●おやこの食育教室:11月15日、親子20組訪問 ・託麻南校区の親子を対象に、食育ランチョンマットを使用し主食・主菜・副菜を揃えることの大切さについて伝えた。	熊本市食生活改善推進員協議会

	取組状況	関係機関・団体名
6	<ul style="list-style-type: none"> ●世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業(高齢世代):10月10日 27人、10月17日 14人、11月7日 26人参加 ●講習会や個別訪問により、自宅に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者に対して、低栄養やフレイル予防について資料を配付し説明を実施。 	熊本市食生活改善推進員協議会
7	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯骨太クッキング:10月11日 35名参加 ●「メタボ予防からフレイル予防への切り替え」をテーマに講話等を実施。 	熊本市食生活改善推進員協議会
8	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの健康・食生活の支援活動:941回2,703人 ●子育て世代の地域住民へ、手作りおやつレシピ(3種)を配付し、作り方、幼児にとってのおやつ目的、おやつの適切な量や食べ方をお話した。 	熊本市食生活改善推進員協議会
9	<ul style="list-style-type: none"> ●若者・働き世代の健康・食生活の支援活動:1,129回2,719人 ●若者や働き世代に対して、若い頃からの生活習慣病予防や食事バランスガイドの普及のための活動を実施した。 	熊本市食生活改善推進員協議会
10	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の健康・食生活の支援活動:3,129回7,157人 ●高齢者サロン等と連携し、高齢者を対象にフレイル予防のための食生活や日常生活についてのお話を行った。 	熊本市食生活改善推進員協議会
11	<ul style="list-style-type: none"> ●各校区において、食育推進ネットワーク担当者と協力し、子育てサークルに参加した親子へ手作りおやつのレシピを配付したり、熊本市より提供した「はやね・はやおき・あさごほんカードとシール」、「こどもの食育推進ネットワークレシピ集」などを配付して地域への情報提供、PRを行った。 	熊本市民生委員児童委員協議会
12	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てサークルや保育園、小中学校、地域イベント等における歯と口の健康づくり啓発:32回 ●むし歯や歯周病予防の観点から、規則正しい食生活やよく噛むこと(噛ミング30)の効果などに関する情報を提供し、食育の推進を図った。 	熊本市8020健康づくりの会
13	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者サロンや老人会でのお口の体操:114回 ●高齢者サロンや老人会などにおいて、おいしく食べるためのお口の体操などの情報提供を実施。 	熊本市8020健康づくりの会

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性		(1)生産者と消費者の交流促進	H30	R1	R2	R3	R4	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑮	農林漁業体験を経験した市民の割合	32.5%	-	-	-	-	50%
取り組むべき施策	21) 生産者と消費者の交流会の開催							
	22) 農林漁業体験を通じた食育活動の推進							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	生産者との給食交流会	給食物資の生産者と児童・生徒との交流と会食を実施し、食育の推進を図る	実施	開催数9回	中止	中止	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	継続実施	健康教育課
2	食農体験事業	収穫、調理など体験型の事業展開を通して、食と農の理解促進を図る	実施	実施	事業終了				継続実施⇒R1で終了	農水ブランド戦略室
3	すこやか交流広場管理運営事業	子ども農園の貸付や植え付け祭、収穫祭等のイベントを開催し、世代間交流を促進	農園利用率76%	農園利用率76%	農園利用率66%	農園利用率70%	農園利用率70%	子どもふれあい農園や多目的広場の貸付及びすこやか交流広場の管理業務を実施した。	100%	健康福祉政策課
4	学校農園等での栽培活動	学校農園、休耕田、プランター等を活用し、栽培、収穫等を体験する	実施率100%	実施率100%	実施率100%	実施率100%	実施率100%	各学校の実態に応じて農業体験や栽培活動、緑化活動等を推進した。	100%	指導課
5	市民(小学生等)と水産業との交流促進	市民と漁業者との交流を通じ、水産業の紹介、漁業体験活動等を推進	参加者数75人	参加者数78人	事業終了				継続実施⇒R1で終了	水産振興センター

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統野菜の継承や主食であるお米の大切さ等を伝えることを目的に、栽培から収穫までを巡回し指導を実施 ・保育園1園:人参、大根、さつまいも⇒種まき、定植、土づくり指導 ・小学校6校:①米⇒播種、田植え、稲刈り②米の一生について(座学)③春日ぼうぶら⇒苗の贈呈、定植指導 	熊本市農業協同組合
2	<ul style="list-style-type: none"> ●尚綱食育の日お魚の日:天草地区漁業士会と連携した食育イベント、6月17日(金)、10月19日(金)尚綱大学九品寺キャンパスで実施 ・天草さくら鯛を使った鯛飯とアオサ汁の提供、天草の魚や漁業士会の活動をPRするポスターの掲示。 ・天草の郷土料理や魚介類に関するアンケートの実施した。 ・鯛飯、アオサ汁、がね揚げ、和え物の特別メニューを学食で販売したが、直ぐに完売。学生にも教職員にも大変好評で、2回実施した。 	尚綱大学・尚綱短期大学部
3	<ul style="list-style-type: none"> ●くだものフェスタ:11月24日、尚綱大学九品寺キャンパス ・熊本県果樹生産振興対策本部と連携し、果物の見直しと食生活への定着を目的に県産果物の周知活動を行った。 ・県産みかんの試食と糖度測定、果物クイズ、パネル展示及びアンケートを実施。学生からはこのようなイベントをまた開催して欲しいという要望が多かった。 	尚綱大学・尚綱短期大学部

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

*H29年実績値

施策の方向性	(2) 地産地消の促進	H30	R1	R2	R3	R4	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑯ 進んで地元農産物を購入する市民の割合	73.8%	-	-	-	-	80%
	⑰ 市内における農産物直売所の販売額	*2,936百万円	2,962百万円	3,125百万円	3,292百万円	3,258百万円	3,339百万円
	⑱ 学校給食における地元農産物の使用割合	*38.2%	40.7%	38.5%	40.5%	39.2%	43%
取り組むべき施策	23) 「くまもとらしさ」を活かした地産地消の推進						
	24) 学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	「ひご野菜」の認知度向上及び普及拡大	熊本に因むストーリーが展開できる野菜を掘り起こし、観光と連携した地産地消の展開を図る	啓発活動の実施	実施	実施	実施	実施	市ホームページにおいて、ひご野菜の紹介や、取材依頼等に対し生産者の紹介などを行った。	継続実施	農水ブランド戦略室
2	農産物直売所支援	直売所で組織する「熊本市農産物直売所連絡協議会」の活動を通じ、周年栽培の取組や合同販売会等の実施により、直売所間のネットワーク強化や販売促進を図る	直売所数 17箇所	直売所数 21箇所	直売所数 21箇所	直売所数 20箇所	直売所数 20箇所	各種イベント等の情報提供や、市ホームページにおいて直売所の通販サイト等を紹介した。	増加	農水ブランド戦略室
3	SNSを活用した熊本市農水産物のPR	農水局フェイスブックや市X(旧Twitter)を活用し、熊本市の農水産物について情報を発信	実施	閲覧数 320,339回	閲覧数 318,451回	閲覧数 235,909回	閲覧数 247,097回	農水局公式Facebookページを継続運用し、市X(旧Twitter)等も活用しながら本市の農水産業や農水産物に関する情報を発信した。	継続実施	農業政策課
4	栄養教諭等の生産地視察	学校給食使用農産物の生産地を視察し、食育に活用	実施	開催数 8回	中止	開催数 4回	開催数 7回	玉ねぎ、青梗菜、レンコン、なす、はるか、ねぎ、キャベツの圃場視察を行った。	継続実施	健康教育課
5	●検証指標 給食における地元産物の利用と地産地消の推進	保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用	実施	実施	実施	実施	実施	(公立)給食物資契約時には、地産地消の観点から選定を行った。	継続実施	保育幼稚園課
6		毎月19日「ひごまるデー」とし市産品の献立を実施。児童、生徒指導のための資料集を作成し、全校に配付	市産品率 38.2% (H30実績 39.2%)	市産品率 40.7%	市産品率 38.5%	市産品率 40.5%	市産品率 39.2%	毎月19日「ひごまるデー」とし市産品の献立を実施。児童、生徒指導のための資料集を作成し、全校に配付した。	43%	健康教育課
	●検証指標	市内における農産物直売所の販売額	2,936百万 (H30実績 2,944百万)	2,962百万	3,125百万	3,292百万	3,258百万		3,339百万	農水ブランド戦略室

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●小・中学校及び福祉施設等へ熊本市産海苔を提供:2校、対象児童数1,255名へ、計1,400枚の焼海苔を配付 ・市内の小中学校に熊本市産海苔を提供し、海苔のPRを行った。 ・漁業者の贈呈の様子を、各クラスの電子黒板での放映を実施。令和5年度継続実施予定。	熊本市漁業後継者クラブ

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性		(3)くまもとの食文化の伝承	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
			基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
検証指標項目	⑱	家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	69.9%	-	-	-	-	80%	
取り組むべき施策	25) 伝統料理や郷土料理等に関する情報提供の推進								
	26) 関係団体との連携による食文化伝承に関わる活動の促進								

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	郷土料理の食のホームページ掲載	郷土料理、祭事料理をホームページ「くまもとの食」に掲載し発信	実施	実施	実施	実施	実施	「熊本のごはん」レシピ集に掲載した郷土料理のレシピと作り方動画を新たに追加した。	継続実施	健康づくり推進課
2	郷土料理を掲載した給食レシピ集の発行	郷土料理も含めた学校給食レシピ集を作成し、学校に配布。親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施	実施	実施	実施	実施	実施	給食だより等でレシピを紹介した。	継続実施	健康教育課
3	給食における郷土料理の実施と啓発活動	学校給食において、食文化の伝承及び啓発を目的に、月1回給食献立に郷土料理を導入	実施小中学校 100%	実施小中学校 100%	実施小中学校 100%	実施小中学校 100%	実施小中学校 100%	味の旅給食を実施した。	100%	健康教育課
4		豆だご等の郷土料理を給食献立に取り入れ、広く保育所等へ発信すると共に、食育だより等に掲載し家庭へも情報提供を行う	実施	実施	実施	実施	実施	郷土料理や年中行事について、月ごとに行事食として提供した。	継続実施	保育幼稚園課
5	【再掲Ⅲ-(3)】 保育園児と地域住民との交流会	地域住民との交流会で、団子汁会や芋煮会を行い、郷土食を伝承	実施	実施	中止	中止	中止	(公立)新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	継続実施	保育幼稚園課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●郷土料理教室:2月22日、大学生10名、食生活改善推進員6名参加 ・崇城大学の学生を対象に郷土料理の伝承を行った。	熊本市食生活改善推進員協議会
2	●鯨肉提供による「鯨肉の魅力」のPRと「鯨と食」に関する意識調査:1月19日、尚絅大学九品寺キャンパスにおいて実施 ・NPO法人くまもと食農応援団の協力で、捕鯨や鯨の食文化に関するパネル展示や学食で「鯨カツ」「鯨汁」の提供、及び意識調査を実施。 ・鯨料理はとても好評であり、約9割が美味しい・とても美味しいと回答した。また、パネル展示により捕鯨についても関心が高まった。	尚絅大学・尚絅大学短期大学部
3	●熊本の郷土料理啓発活動:1月23日～27日、尚絅大学九品寺キャンパスで実施 ・熊本の郷土料理の啓発活動(パネル展示及び認知度調査)を実施。熊本に古くから伝わる郷土料理22品について、地区毎に分けてパネルを作成し、その認知度をオンラインアンケートで実施した。 ・熊本県の食材や郷土料理、食文化を学ぶ機会となった。	尚絅大学・尚絅大学短期大学部

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性		(4) 食の循環や環境を意識した食育の推進	H30	R1	R2	R3	R4	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑳	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう	74.6%	-	-	-	-	85%
		心がけている市民の割合	若い世代【20,30歳代】	68.5%	-	-	-	75%
	㉑	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.7%	-	-	-	85%	
	㉒	「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	86店舗	91店舗	101店舗	108店舗	200店舗
取り組むべき施策	27) 食育を通じた環境保全							
	28) 環境保全体験を通じた食育活動の推進							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R4の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	環境にやさしい店の推進	ごみ減量リサイクルの推進に積極的に取り組む小売店を環境にやさしい店「よかエコショップ」と認定し広報	認定店舗数 149店舗	認定店舗数 149店舗	認定店舗数 149店舗	事業終了			増加	脱炭素戦略課
2	水質監視	地下水等に関する水質監視	監視率 100%	監視率 100%	監視率 100%	監視率 100%	監視率 100%	水質汚濁防止法の規定に基づき、本市における地下水質の監視を行った。	100%	水保全課
3	広域水保全対策	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動等を通じ、地下水かん養域と地域との交流や連携を深め、熊本地域の地下水を保全する	参加人数 (台風のため中止)	参加人数 115人	中止	中止	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	200人	水保全課
4	小学校への副読本の配布	小学4年生へ、社会科副読本として、ごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、配布	配付数 7,500人	配付数 7,500人	配付数 7,800人	配付数 7,600人	配付数 7,600人	R4年度も小学4年生へ、社会科副読本として、「ごみとリサイクル」を作成し、配付した。また、植木地区版を作成し植木地区の小学4年生にも配付した。	小学4年生 全員へ配布	廃棄物計画課
5	生ごみ減量対策	食品ロス削減推進法を踏まえ、「生ごみにしない」、「出たしまった生ごみをいかに減量するか」に重点をおき、生ごみ減量に取り組む (評価指数:新たに生ごみ減量化に取り組んだ人数)	1,220人	1,247人	175人	156人	241人	R3年度まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していた段ボールコンポスト講座を再開し、96人が参加した。また、生ごみ処理機・堆肥化容器の助成金を145人に交付した。	対前年比 増加	廃棄物計画課
6	環境保全に関する市民啓発	環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う	参加人数 3,590人	参加人数 3,485人 (103回)	中止	中止	中止	新型コロナウイルスの検査を実施していたため、感染予防の観点からすべての学習会を中止した。	増加	環境総合センター
7	環境にやさしい農業の推進	エコファーマー、有作くん等、環境にやさしい農家の戸数	経営体数 1,625	経営体数 1,365	経営体数 1,349	経営体数 1,324	経営体数 1,322	エコファーマー、有作くんの認定(認証)、更新を推進した。	2,090	農業支援課
	●検証指標	「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	86店舗	91店舗	101店舗	108店舗	R4年度も「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を募集し、新たに7店舗を登録した。	200店舗	事業ごみ対策課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●公開講演会(学生グループとのコラボ):8月、9組の親子参加 ・規格外野菜を通して地域貢献を目指す学生グループSalvegeとのコラボ規格で実施。規格外野菜はSDGsともつながりがあり、自由研究テーマに向いていることから、自由研究応援イベントとして実施。講師となる学生にとっては、対面で情報発信する貴重な機会となった。	熊本県立大学
2	●栄養ワンダー2022:7月22日(金)栄養ワンダー2022に協賛し、「栄養と環境ー地球を元気に、未来を元気にー」をテーマに「サステナブルに食べよう」という題目で、管理栄養士が調理師養成科とパティシエ科に対して講義を行った ・栄養に対する興味や関心が高まり、管理栄養士・栄養士の職能について認知と理解をすることができた。	熊本県立大学

○令和5年度からの、「食育の推進」に関する新たな取組について

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策(3)くまもとの食文化の伝承

	主な取組	取組内容	R5目標値	R5年度(2023年度)事業内容	担当課
1	次世代伝えたい、郷土料理「熊本のごはん」普及事業 ※参考資料	令和4年度に作成した、郷土料理レシピ集「熊本のごはん」の普及、啓発を図り、第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画の目標である「家庭での食事に郷土料理を取り入れている市民の割合の増加」を目指す。	調理実習 10回	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に作成した、郷土料理レシピ集「熊本のごはん」の普及のため、認知度の高い郷土料理「いきなりだんご」を中心に、広く市民を対象に調理実習を行い、家庭そして地域への郷土料理が継承されることを目的に実施する。 またこの事業は、区役所保健子ども課と協働で行い、デジタル化に対応した食育の推進としてオンラインでも開催する。 食生活改善推進員の研修会や健康教育の場において、「熊本のごはん」レシピ集を紹介し、普及啓発を行う。 	健康づくり 推進課 各区保健こ ども課